応援してください 聴導犬のこと。

聴導犬の育成には、1頭あたり約300万円もの費用がかかります。これらは皆様からの会費や寄付金によって支えられています。協会サポーターとして聴導犬を応援して下さい。

※ご支援の内容によっては税制優遇措置が適用されます。

会員・寄付支援

賛助会員年会費

パピー会員　一口 5,000円 / オレンジ会員　一口 10,000円
法人会員　一口 20,000円

活動支援

- 「聴導犬支援自動販売機」を設置しています。
  協力：サントリービバレッジサービス様
  コカ・コーラボトラーズジャパン様
- クレジットカードを利用した寄付サービス「かざして募金」の支援対象団体になっています。(協力：ソフトバンク様)
- 「ボランティア」も随時募集中。「募金箱の設置」「グッズ購入」「使用済み切手・書き損じハガキ」でもご支援いただけます。

普及支援

聴導犬に関する講演やデモンストレーションを行っています。
ご興味のある方は協会までご連絡下さい。

連絡先

公益社団法人 日本聴導犬推進協会
〒356-0051 埼玉県ふじみ野市亀久保2201-5
TEL：049-262-2333
FAX：049-262-2543
www.hearingdogjp.org
E-Mail：info@hearingdogjp.org

twitterやfacebookやってます！

知っていますか？ 聴導犬のこと。

公益社団法人
日本聴導犬推進協会
The Japanese Association for the Promotion of Hearing Dogs

聴導犬の一日

こんなお仕事をしています

毎日の暮らしのなかにはたくさんの音があり、わたしたちはその音からいろいろな情報を得ています。聴導犬は、耳が聞こえない方、聞こえにくい方に必要な音の情報を伝えることはもちろん、いつもそばにいることで、安心感を持ってもらうという、大切な仕事をしています。聴導犬の一日をのぞいてみましょう。

AM7:00

おはよう！目覚しのベルが鳴っているよ。

AM7:30

お湯が沸いて、ピーピー音がしているよ。

PM14:00

気をつけて！自転車のベルが鳴っているよ。

AM11:00

お客さんだよ！インターフォンが鳴っているよ。

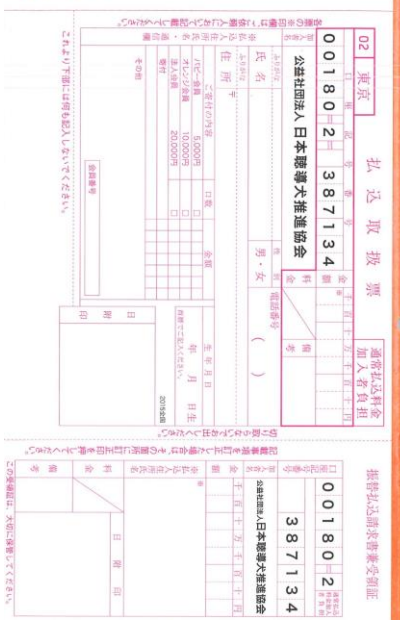
PM19:00

メールの着信音が鳴っているよ。

PM23:00

おやすみなさい！非常ベルが鳴ったら起こすから安心して寝てね。

当協会では、個人情報保護法を遵守し、皆様からいただいた個人情報は、受領書の発行、会報の発送など協会からお知らせするために利用させていただきます。また、適切な委託先を選定し、当協会委託先との間で、個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決めた契約書を締結した業務委託先に個人情報を提供する事があります。
※現金で10万円以上のお振込みをされる場合、法律改正により2007年1月4日より、ゆうちょ銀行又は郵便局にて本人確認が必要となります。運転免許証や健康保険証、パスポート等の身分証明書をご準備のうえ、窓口にてお手続ください。



聴導犬はパートナー

～ユーザーさんのお声～

東彰さん & 聴導犬あみのすけ

仕事と子育て、家事を両立できているのはアミがいつも一緒にいるおかげ。「音が鳴ってるよ」とタッチしたアミの視線を追えば、何の音かすぐにわかる。お客様？来客は？娘が呼んでる？等、何度も確かめなくていいから安心。職場でもノック音や非常ベルを伝えてくれるから大丈夫。お仕事をする犬だね！と認めて下さる皆さんの笑顔が私たちユーザーへの大きな応援になっています。

安藤美紀さん & 聴導犬アーミ

聴導犬と一緒になれて、心が楽になりました。音を知らせてくれるだけでなく、自分が聞こえないということを周りに言わなくてもわかってくれます。毎日人に会うたび、自分が聞えないことを話し、気を使っていましたが、それがなくなり、肩の荷がおりて楽になりました。聞こえる家族とも聞こえない障がいに対しての理解を得ることができて、一つになることができたと思います。犬は人を笑顔にさせる不思議な力があります。私にとって聴導犬とは、人と人を繋げる、心のパートナーです。

聴導犬を希望される方へ

聴導犬はあなたが自立した生活を送り、進んで社会参加していくためのパートナーです。音を気にしながら過ごす不安や緊張から解放してくれます。

- 聴導犬は、無償で貸与されます。
- 身体障害者補助犬法により、施設や交通機関をご利用の際、聴導犬を同伴させることができます。
- 聴導犬との生活がはじまってからも、継続的にフォローいたします。

ご興味をお持ちの方は当協会までご連絡下さい。
詳しい資料を送付いたします。
E-Mail　info@hearingdogjp.org

聴導犬になるまで

わたしたち日本聴導犬推進協会が育てます

1 動物愛護センターなどに収容されている犬から選びます。

どんな犬が聴導犬になるの？

聴導犬の候補犬は、動物福祉の観点から、動物愛護センターや動物愛護団体などに収容されている、捨てられたり、保護された犬の中から選びます。生後2～4ヵ月の子犬が持っている元々の性格を評価して聴導犬として向いている犬を選び、トレーニングしています。また、他の補助犬の協会でキャリアチェンジになった犬を、聴導犬の候補犬として導入するといった取り組みも行っています。

10項目以上のテストをします。

たとえば
☑人が好き？
☑人と一緒にいたい？
☑ストレス耐性は？

2 さまざまな訓練を行います。

どうやって育てるの？

候補犬として選ばれた犬は、3段階の訓練を受けます。

人と暮らすマナーを身につけ、音に反応するように訓練します。

聞こえない人の生活に合わせた音の訓練や、公共の場で訓練します。

希望者と犬がきちんとした関係を作るために、一緒に生活しながら訓練します。

3 認定試験に合格した犬だけが聴導犬になれます。

どうやったら聴導犬になれるの？

合同訓練終了後に書類審査や動作検証などの認定試験を受け、合格した犬だけが聴導犬として認定されます。

4 「聴導犬」と書かれた表示が目印です。

街のなかで聴導犬はどうやって見分けるの？

聴導犬は、試験に合格した証である「表示」を付けた、オレンジ色の「聴導犬」と書かれたケープを着用しています。聴導犬を連れている方は、聴覚に障がいのある方です。犬に対しては見つめたり触ったりせず、パートナーの方に補助が必要な場合に、サポートをよろしくお願いします。

日本聴導犬推進協会について

MISSON ／使命・手段

良質な聴導犬を育成し聴覚障がい者の自立と社会参加を支援する。また、聴導犬を啓発する事で、障がい福祉や、動物福祉への理解を社会に広める。

VISION ／目指す社会・構想

聴導犬があたり前の社会
（聴覚障がい者が安心して暮らせる社会 / 人と動物が共生できる社会）

ACTION ／行動・働き

育成活動……候補犬導入の安定／訓練技術の発展／ユーザー対応の充実／認定実績の増加／訓練士の育成

広報活動……啓発活動の増加／広報技術の発展／ネット広報の発展／希望者の開拓／共感者の獲得

日本で初めて聴導犬を育成した実績と、年間100件以上の広報活動。私たちと聴導犬を応援してください。